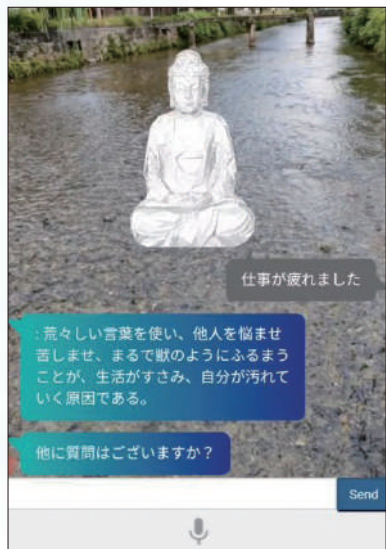


●特別講演会

こころテックと伝統知テックで

生老病死の苦悩を超えられるか？

～心のサポートテクノロジーやAIブツダの開発～



仏像の姿をした「AIブツダ」がスマホの画面上に表示され、お悩みに答えてくれる(京都大学提供)

京都大学
人と社会の未来研究院
教授
熊谷誠慈
(くまがい せいじ)

【開催日時】2025年6月3日(火) 14時開始 【定員】先着250名(事前の申込が必要です)

【会場】京都府立医科大学附属図書館 【参加費】無料 【主催】京都府立医科大学附属図書館

●講演概要

疫病、戦争、物価高、この数年、ネガティブなニュースばかりを目にします。こうした生きづらさは避けられないものなのでしょうか。仏教では、「一切皆苦」(全ての生き物は苦しみを抱える)とされています。では、苦しくても仕方ないとあきらめるしかないのでしょうか。この点について、仏教では、心の苦しみは悪しき感情など(煩惱)から生じるものであり、心を正しく理解し、煩惱を制御することで減少・解消できると説かれています。本講演では、このような仏教思想の観点から心の構造を概説したうえで、内閣府ムーンショット(目標9)で実施している心のテクノロジー(こころテック)の開発、さらに、京都大学と株式会社テラバースが推進している伝統知テクノロジー(伝統知テック)の開発について紹介いたします。

●熊谷 誠慈(くまがい せいじ)氏 プロフィール

1980年広島生まれ。京都大学大学院博士課程修了、博士(文学)。京都大学助教、准教授を経て、2023年より現職。専門は仏教学(インド・チベット・ブータン)。古代の哲学書や歴史書の解析に加え、仏教最古の経典を機械学習させた仏教対話AI「ブツダボット」など、伝統知とAI等を融合した「伝統知テック」の開発と社会実装も進めている。また、プログラムディレクターを務める内閣府ムーンショット(目標9)では、「こころテック」(心の状態を把握・変化させる技術)の研究開発を推進し、心の安らぎと活力に満ちた社会の実現を目指している。



広小路キャンパス活性化
プロジェクト
HIROKOJI CAMPUS ACTIVATION PROJECT

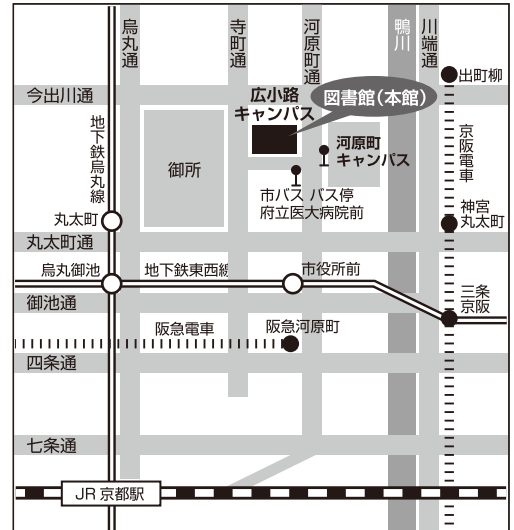
会場アクセス

会場

- 京都府立医科大学附属図書館
京都市上京区清和院口寺町東入中御霊町 410

交通

- 京都市バス「府立医大病院前」徒歩 2 分
- 京都市営地下鉄「丸太町駅」徒歩 20 分
- 京阪電車「神宮丸太町駅」徒歩 10 分



京都大学 熊谷誠慈 特別講演会

人と社会の未来研究院 教授

「こころテックと伝統知テックで生老病死の苦悩を超えられるか？」

～心のサポートテクノロジーや AI ブッダの開発～

事前のお申し込みが必要です。／先着 250 名

- 参加費無料
- 応募は1通につき2名まで
- 当選者の発表は聴講券の返信をもってかえさせていただきます。

申込方法／下記のいずれかよりお申込みください。

Web フォームからお申込み

<https://forms.gle/UrbDn2B4cFpkR8m16> QR コードから申込みフォームへアクセスできます。▶



FAX にてお申込み／075-212-5405 ※下記にご記入の上、左記 FAX 番号あてに送信してください。

●申込者

ふりがな

お名前

電話番号 () -

FAX番号 () -

住所 〒 -

Eメール

●同伴者

ふりがな

お名前

電話番号 () -

FAX番号 () -

住所 〒 -

Eメール

【詳細・お問合せ】京都府立医科大学附属図書館

TEL.075-212-5400(平日 9:00～17:00のみ受付)

library@koto.kpu-m.ac.jp

京都府立医科大学 図書館

検索